

平成28年度 建設交通部 運営目標

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
1	頻発する集中豪雨に備えた治水対策・土砂災害防止対策を、国や市町村と連携しながら府内全域で推進するとともに、警戒避難体制の整備を支援します。		
①	集中豪雨による浸水被害の防止・軽減を目的とした流域全体での総合的な治水対策を推進します。 具体的には、福知山市域の総合的な治水対策を推進するとともに、堂の川(木幡池)、高野川(舞鶴市)をはじめ関係者の合意が得られた地域で国、府、市など関係機関と連携し、総合的な治水対策の検討を推進します。 ・福知山市街地の治水対策 国、府、福知山市の三者で連携・協議し、直轄由良川床上浸水対策特別緊急事業の事業促進及び府の弘法川・法川床上浸水対策特別緊急事業を推進 ・安祥寺川、四ノ宮川の治水対策 - 京都市と連携して治水対策をとりまとめ、宇治川圏域河川整備計画を変更 ・堂の川(木幡池)の治水対策 国、府、宇治市の三者で連携して治水対策をとりまとめ、地元合意が得られれば、宇治川圏域河川整備計画を変更 ・高野川の治水対策 - 舞鶴市と連携して、総合的な治水対策案をとりまとめ ・天神川上流の環境整備 - 天神川上流(京都市北区衣笠開き地区)の環境整備のため、国や京都市との連携のもと、引き続き、空き家の撤去等、地元等の協力を得ながら、適正な管理のための取組を推進 ・出水期への備え - 市町村や防災関係機関との顔の見える連絡・連携体制を強化し、防災情報を警戒避難に活用するため「防災情報等共有会議」を開催 - 河川管理施設、砂防施設等の巡視、点検などを確実に実施	◎	・福知山市街地の治水対策 【直轄事業】 - 荒河排水機場増強完了(既設10+3m³/s) →H28.9月(出水期明け)から稼働可能 - 弘法川排水機場増強工事中(既設5+9m³/s) - 法川排水機場増強完了(既設12+3m³/s) →H29.3月から稼働可能 【府事業】 - 弘法川、法川で工事着手、事業推進中 ・安祥寺川・四宮川の治水対策 - 河川整備計画に安祥寺川・四宮川を追加 ・堂の川(木幡池)の治水対策 国、府、宇治市の三者で連携して治水対策をとりまとめ、宇治川圏域河川整備計画の変更手続き中 ・高野川の治水対策 - 舞鶴市と連携して、協議会を2回、幹事会を4回開催し、総合的な治水対策をとりまとめ ・天神川上流環境整備 国、京都市及び府で構成する協議会を開催するなど関係機関と連携を図っており、平成28年度空き家を4戸撤去。引き続き、居住者等と意見交換しながら取組を推進。 ・出水期の備え 「防災情報共有会議」を開催(H28.5)。 - 河川管理施設について出水期前に重要水防区域や河川重点警戒箇所点検を実施するとともに、砂防施設の巡視、点検を「京都府における砂防設備の定期巡視点検実施要領」に基づき実施。
②	由良川流域の治水対策を促進します。 ・直轄由良川緊急治水対策と連携して、府管理の河川及び道路を整備 [河川]相長川・大谷川・大砂利川の整備推進 [道路]国道175号(阿良須)の整備完了、石原停車場戸田線(戸田橋)・舞鶴綾部福知山線(川北工区・私市橋)・舞鶴福知山線(南有路)の整備推進 ・福知山市街地の治水対策【再掲】 国、府、福知山市の三者で連携・協議し、直轄由良川床上浸水対策特別緊急事業の事業促進及び府の弘法川・法川床上浸水対策特別緊急事業の推進 ・大野ダムの効果的な運用 - 由良川改修の進捗を踏まえ、大野ダムを効果的に運用するため国と連携して検討の上、操作規則の見直しを推進	◎	・直轄由良川緊急治水対策と連携した府管理の河川及び道路整備 [河川] - 相長川、大谷川、大砂利川について、工事、測試を行い、整備推進中 [道路] - 国道175号(阿良須)整備完了(H28.11) - 石原停車場戸田線(戸田橋)・舞鶴綾部福知山線(川北工区・私市橋)で事業推進中 - 舞鶴福知山線(南有路)整備完了(H28.11) ・福知山市街地の治水対策 推進中【再掲】 ・大野ダムの効果的な運用 - 操作規則の見直しに向け国と協議開始

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	③ 桂川流域の治水対策を促進します。 ・直轄桂川緊急治水対策のうち、特に嵐山について、国、京都市とともに地元との調整を積極的に推進 ・桂川上流圏域の府管理河川の整備 桂川(保津工区)の高水敷掘削の完了、園部川(横田工区)の完了 ・桂川上流圏域の河川整備計画 近年の豪雨災害の状況を踏まえ、国、府、亀岡市、南丹市が連携し、流域における貯留施設の整備等総合的な治水対策を検討のうえ桂川上流圏域の河川整備計画案を策定	○	・嵐山地区の治水対策 国、京都市とともに地元検討会を2回開催(6、8月) ・桂川上流圏域の府管理河川の整備 桂川(保津工区)の高水敷掘削はほぼ完了 園部川(横田工区)は完了 ・桂川上流圏域の河川整備計画 総合的な治水対策の勉強会を2回開催(10、3月)し、対策の推進を検討。段階的な整備内容を検討し国と協議中
	④ 宇治川流域の治水対策を促進します。 ・宇治川圏域の府管理河川の整備 古川床上浸水対策緊急特別事業による国道24号上流工区及び弥陀次郎川、戦川の事業推進 ・安祥寺川、四ノ宮川の治水対策 京都市と連携し、宇治川圏域河川整備計画を変更【再掲】 ・堂の川(木幡池)の治水対策 国、府、宇治市の三者で連携し、地元合意が得られれば、宇治川圏域河川整備計画を変更【再掲】	○	・府管理河川の整備 古川については用地買収が約8割完了、護岸工事を推進中 弥陀次郎川は、天井川切り下げ区間が完了。 戦川、新田川は用地買収に先立ち、地元調整を行った。 ・安祥寺川、四ノ宮川の治水対策 計画変更済【再掲】 ・堂の川(木幡池)の治水対策 計画変更中【再掲】
	⑤ 木津川流域の治水対策を促進します。 ・木津川圏域の府管理河川の整備 赤田川の事業推進	◎	・府管理河川の整備 赤田川:現在工事を実施し事業推進中
	⑥ 台風18号や南部豪雨により被災した箇所の土砂災害防止対策などを重点的に実施します。 ・長江(宮津市)など11箇所の土砂災害防止対策を推進 ＜・下庄谷川(宇治市)など2箇所の対策完了(27年度実績 2箇所完了)＞	○	土砂災害防止対策 ＜10箇所に対策推進(90.9%)、3箇所に対策完了(150.0%)＞
	⑦ 災害復旧事業を早期に完了させます。 ＜・過年発生災害全箇所完了を目指す。(27年度実績 9割完了)＞	○	進捗率95.7% (過年発生災害箇所数47箇所、H29年3月末時点完了箇所数45箇所)
	⑧ 暮らしの安心を支える基幹的な河川整備、近年浸水被害が発生した河川のネック箇所解消等、地域の防災対策、天井川の補強対策を推進します。 ・暮らしの安心を支える河川整備の推進 ＜竹野川(小西川、鳥取川)、福田川、加悦奥川、牧川、桂川、高屋川、古川(井川)、防賀川、赤田川等 20河川＞ ・地域の防災対策の推進 ＜園部川、犀川(綾部市)、和久川、河辺川、大橋川等 11河川＞ ・天井川の補強対策 天井川の護岸、構造物や堤体の抜本的な補強対策の推進	◎	・暮らしの安心を支える河川整備の推進 ＜交付金河川(20河川)全てについて整備推進(100.0%)＞ ・地域の防災対策の推進 ＜11河川について、工事あるいは測試を実施し事業推進中(100.0%) ・天井川の補強対策 天井川について、護岸等の補強対策を実施

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
⑨	暮らしの安全を支える土砂災害対策工事を推進します。＜85箇所に対策推進し、10箇所に対策完了(27年度実績 8箇所完了)＞ ・被災箇所等の保全対策:大波下(舞鶴市)など38箇所の対策推進 有岡(綾都市)など5箇所に対策完了【一部再掲(実3箇所)】(27年度実績 3箇所完了) ・要配慮者利用施設の保全対策:要対策数237施設のうち、花尻川(京都市左京区)など13箇所(17施設)で対策推進【一部再掲(実10箇所)】 天井川(福知山市)など3箇所(4施設)で対策完了【一部再掲(実2箇所)】(27年度実績 2箇所、2施設完了) ・避難所等の保全対策:要対策数431施設のうち、大町谷川(南丹市)など29箇所(28施設)で対策推進【一部再掲(実24箇所)】 小原田(福知山市)など3箇所(5施設)で対策完了【一部再掲(実2箇所)】(27年度実績4箇所、4施設完了) ・公共施設及び集落の保全対策:不動谷川(笠置町)など13箇所に対策推進、孫谷川(宮津市)1箇所に対策完了＞		土砂災害防止対策を85箇所で開催、10箇所を完了(100.0%) ・被災箇所等の保全対策を38箇所で開催、4箇所を完了(80.0%) 【未達成要因・理由】 福知山市宮垣地区の宮垣川において、工事残土に汚染物質(鉛・ヒ素)が含まれていることが判明したため、処分費、運搬費が増額となりH28年度予算内での完成ができなくなったため。 ・要配慮者利用施設の保全対策を13箇所で開催、4箇所(5施設)で対策完了(133.3%) ・避難所等の保全対策を29箇所で開催、3箇所(5施設)で対策完了(100.0%) ・公共施設、集落の保全対策を13箇所で開催、1箇所を完了(100.0%)
⑩	緊急輸送道路等の整備を推進します。 ・緊急輸送道路の整備 ＜山陰近畿自動車道 国道312号 野田川大宮道路(与謝天橋立ー京丹後大宮間)、国道163号(北大河原バイパス)、都市計画道路宇治淀線3箇所完了、国道178号(上野平バイパス)、国道307号(奥山田バイパス)、国道423号(法貴バイパス)、小倉西舞鶴線(白鳥トンネル)、綾部宮島線(脇谷バイパス)、国道178号(袖志、カマヤ工区)、国道307号(市辺～奈島)、園部平屋線(船岡～殿田)、御陵山崎線(Ⅲ工区)等16箇所事業推進、国道175号(小津田)、国道307号(郷ノ口)の2箇所事業着手＞ ・災害時孤立集落解消のための道路防災対策 ＜和束井手線(井手町多賀)1箇所完了(全体40箇所のうち35箇所完了[87.5%])＞ ・由良川下流部緊急水防災対策事業及び由良川緊急治水対策関連道路の整備 国道175号(阿良須)完了、石原停車場戸田線(戸田橋)・舞鶴綾部福知山線(川北工区・私市橋)・舞鶴福知山線(南有路)の整備推進		・緊急輸送道路の整備 ＜3箇所完了、16箇所事業推進中、2箇所着手(100.0%)＞ ・災害時孤立集落解消の道路防災対策 ＜和束井手線(井手町多賀)1箇所完了(100.0%)＞ ・由良川関連道路の整備 ＜国道175号(阿良須)の整備完了(H28.11) 石原停車場戸田線(戸田橋)・舞鶴綾部福知山線(川北工区・私市橋)の事業推進中 舞鶴福知山線(南有路)の整備完了(H28.11)(100.0%)＞
⑪	土砂災害のおそれがある区域を明確にし、警戒避難体制の整備を促進します。 ＜・土砂災害警戒区域等の指定完了(1巡目:1,602箇所)(27年度実績1,568箇所指定)＞ ＜・基礎調査(2巡目)の計画策定＞		・1,002箇所指定(62.5%) 【未達成の理由】 区域指定に際し、市町村と連携して地元説明会を開催しているが、最終年度に当たり理解が得られない地域がまだ多く残っており、その対応に時間を要している。 ・基礎調査(2巡目)計画策定済
⑫	府民生活部等と連携し、「災害からの安全な京都づくり条例(仮称)」を策定し、総合的な治水対策などを推進します。		・条例策定済(H28.8施行) 重要開発調整池の技術的基準を策定、告示済み(H29.3)
⑬	災害危険情報の公表により避難行動を支援します。 ＜・浸水想定区域図の改定 82河川(27年度実績11河川改定中)＞		74河川(90.2%)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
2	公共施設の計画的・効率的な整備、老朽化による事故ゼロを目指した維持管理を行うため、公共事業の長期的な見通しを示すとともにアセットマネジメントを推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	インフラの長寿命化を着実に推進するため、13施設毎におけるメンテナンスの具体的手法を定めた「個別施設計画」の策定を完了します。 (H28:港湾(宮津港、久美浜港)、海岸、河川護岸・堤防、砂防関係施設) 「京都技術サポートセンター」を設立し、府及び市町村のメンテナンス業務を総合的に支援します。	◎	・港湾(宮津港、久美浜港)、海岸、河川護岸・堤防、砂防関係施設の個別施設計画を策定(H29.3) ・京都府、市長会及び町村会の3者により、土木・建築施設の総合的なアセットマネジメント組織として、一般財団法人京都技術サポートセンターを設立(H28.5)し、府及び市町村の橋梁点検等の支援に着手
	②	計画的点検を実施します。 <・道路:橋梁及び舗装の予防補修を推進するため、橋梁400橋(全2036橋を5箇年毎に点検)及び舗装50kmの計画的点検を実施 施設の老朽化による第三者被害ゼロを目指し、トンネル15箇所(全61トンネルを5箇年毎に点検)の計画的点検を実施> <・河川:出水期前に実延長3,697km(左右岸計)のうち出水期前に天井川・重点河川区分等に基づく約700kmの巡視・点検を実施し、残りの約3,000kmについては年1回の巡視を実施。排水機場については年点検及び月点検を実施> ・海岸:毎年、本格的な海岸利用(G.W.前)までに、海岸保全施設の点検を実施 ・ダム:大野ダム、畑川ダムにおいて、施設の機能を良好な状態に保持するため、定期点検及び日常点検を実施 ・河川・海岸:不法行為物件については、今年度の方針を策定の上、計画的な撤去に着手 ・砂防:土砂災害発生時の影響度、施設の損傷度から定期点検を実施 ・公園:利用者の安全のため、引き続き日常点検と定期点検を継続	◎	<・道路:橋梁480橋実施(120.0%、全2213橋を5箇年毎に点検)、舗装点検96km実施(192.0%)、トンネル15箇所実施(100.0%)> <・河川:出水期前に天井川・重点河川区分等に基づく約700kmの巡視・点検を実施(100.0%)。残りの約3,000kmについては、点検業務を外部委託中(100%)> ・排水機場の年点検、月点検は実施済 ・海岸:海岸保全施設の点検をGW前に実施済 ・ダム:定期点検及び日常点検を実施 ・河川・海岸:不法行為対策方針を策定し(H28.7)、不法占用物の撤去を実施(橋梁2橋、工作物2物件) ・砂防:関係施設長寿命化計画に基づき点検計画及び点検マニュアルの策定を完了 ・公園:利用者の安全確保のため、日常点検と定期点検を実施(プールの開園前の点検を実施(H28.6))
	③	計画的修繕・更新を推進します。 <・道路:京都の道・長寿プランに基づき、橋梁20橋及び舗装50km(損傷の著しい全区間完了)の補修を実施 修繕で対応できない小倉西舞鶴線(白鳥トンネル)、郷ノ口余部線(宇津根橋)、綾部宮島線(脇谷バイパス)の事業推進> ・河川:点検結果に基づき、計画的な修繕を実施 ・海岸:点検結果に基づき、計画的な修繕を実施 ・ダム:大野ダム、畑川ダムにおいて、施設の機能を良好な状態に保持するため、定期点検及び日常点検を実施 ・砂防:点検結果に基づき、維持修繕計画を策定し、計画的な修繕を実施 ・公園:計画的修繕の推進(丹波自然運動公園:南区域駐車場門扉更新工事完了 山城総合運動公園:幹線園路修繕工事完了) ・住宅:外壁や設備等の計画的な修繕と中村団地などの大規模建替団地の整備推進	○	・道路:<橋梁30橋の補修を実施(150.0%)、舗装補修38km実施(76.0%、損傷の著しい箇所一部未完了)、小倉西舞鶴線(白鳥トンネル)など3箇所です業推進中> ・河川:点検結果に基づき、計画的な修繕を実施済 ・海岸:点検結果に基づき、計画的な修繕を実施済 ・ダム:定期点検及び日常点検を実施 ・砂防:関係施設長寿命化計画に基づき修繕計画の策定完了 ・公園:丹波自然運動公園工事完了(H28.12)、山城総合運動公園工事完了(H28.8) ・住宅: (修繕)外壁、電気容量改修工事発注済(H29.3) (建替)中村団地2期開発工事発注済(H28.9) 芥子谷団地1期建設工事発注済(H29.3)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
3	南海トラフ地震等に備えるため、府民の生命・身体・財産を守る地震防災対策を推進します。		
達成手段 (数値目標)	①	○	- 緊急輸送道路の整備等を推進します。 - 緊急輸送道路（高速道路ネットワーク）の欠落区間の解消 - 新名神高速道路（城陽～八幡間）の完成 - 山陰近畿自動車道 国道312号 野田川大宮道路（与謝天橋立～京丹後大宮間）の完成、大宮峰山道路の直轄権限代行事業促進支援 - 緊急輸送道路（一般道路）の強化 ＜国道163号（北大河原バイパス）、都市計画道路宇治淀線2箇所完了、国道178号（上野平バイパス）、国道307号（奥山田バイパス）、国道423号（法貴バイパス）、小倉西舞鶴線（白鳥トンネル）、綾部宮島線（脇谷バイパス）、国道178号（袖志、カマヤエ区）、国道307号（市辺～奈島）、園部平屋線（船岡～殿田）、御陵山崎線（Ⅲ工区）等16箇所事業推進、国道175号（小津田）、国道307号（郷ノ口）の2箇所事業着手＞【再掲】 - 緊急輸送道路における耐震対策 ＜橋梁耐震対策推進：完了（全体230橋の内229橋完了済（99%）＞、法面防災対策推進：2箇所完了（全体192箇所の内142箇所完了済〔74%〕）＞
	②		- 沿道建築物の耐震化を推進します。 - 人命救助活動に必要とされる緊急輸送道路において、地震時に建物の倒壊により閉塞のおそれのあるすべての沿道建築物の耐震化に向けた計画を策定します。（災害対策本部等をつなぐ緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化を推進）
	③		- 木造住宅の耐震化を支援します。 ＜耐震診断事業：800戸、耐震改修事業：本格改修300戸、簡易改修700戸＞（②実績 耐震診断644戸、本格改修186戸、簡易改修868戸）
	④		- 河川管理施設の耐震化を推進します。 - 天井川水路橋の耐震化の推進 ・天神川の府道水路橋の耐震工事着手 ・天神川のJR水路橋の耐震設計完了（全9橋の内2橋工事完了済） ＜・府内の市街地を貫流する高盛土堤防を有する4河川について耐震性能調査を推進（全36河川の内24河川完了済）＞
	⑤		- 丹後沿岸海岸における津波対策を踏まえた丹後沿岸海岸保全基本計画の変更を進めます。 ・日本海側における津波対策として、設計津波（L1津波）の設定を行い、各海岸における設計津波の水位を設定 ・それを踏まえた丹後沿岸海岸保全基本計画の変更
			◎ ・緊急輸送道路（高速道路ネットワーク）の欠落区間の解消：新名神高速道路（城陽～八幡間）が昨年の高槻・神戸間での二度にわたる事故の影響によりH29.4完成 - 野田川大宮道路：完成、供用（H28.10） - 大宮峰山道路：地元説明会実施、現地測量を実施中 ・緊急輸送道路（一般道路）の強化 ＜2箇所完了、16箇所事業推進中、2箇所着手＞（100.0%） ・緊急輸送道路における耐震対策 ＜橋梁耐震対策完了（100.0%） - 法面防災対策推進：3箇所完了（150.0%）＞ ◎ ・計画策定済（H29.2） ○ ＜・耐震診断818/800戸、耐震改修事業：本格改修188/300戸、簡易改修733/700戸の交付受付済（96.6%）＞ ○ ・天井川水路橋の耐震化 - 天津神川の府道水路橋の耐震工事実施中 - 天神川のJR水路橋の耐震設計中 ＜・高盛土堤防有する4河川について耐震性能調査を完了（100.0%）＞ △ ・設計津波（L1津波）設定済 ・今後、各海岸管理者が各海岸における設計津波の水位を設定し、それを踏まえて丹後沿岸海岸基本計画を変更 【未達成要因・理由】 - 計画の変更のため進めていたL1津波検討委員会において、微地形による津波の増幅率の検討など多くの課題が出され、時間を要したため。

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
4	「海・森・お茶の京都」などの地域構想を支援し、持続的な経済活動、交流人口の拡大や定住人口の増加を推進するため、府域の骨格をなす高速道路の未成区間の早期解消とインターチェンジ周辺のまちづくりや、高速道路の効果を府域全域に広げる幹線道路の整備を推進します。		
達成手段 (数値目標)	①	◎	構想素案のとりまとめに向け、「京の道づくり重点プラン」により各テーマに係る課題について抽出中
	②	○	・城陽～八幡間：供用確定(H29.4) ・大津～城陽間、八幡～高槻間：(城陽～宇治田原間)での工事着手、(八幡～高槻間)での用地進捗(城陽～宇治田原40%、八幡87%) ・スマートインターチェンジ：事業実施計画策定中 ・国道307号(城陽市市辺～奈島)：事業推進中 ・国道307号(宇治田原山手線)：公共事業評価に係る第三者委員会による意見聴取(H29.2) ・内里高野道線(第2工区)：事業着手済 ・八幡インター線：供用確定(H29.4) ・宇治木屋線(犬打峠)：公共事業評価に係る第三者委員会による意見聴取(H29.2) ・宇治木津線：国が計画段階評価の第1回近畿地方小委員会を開催(H28.12)、住民アンケートを実施(H29.2～3)
	③	◎	・野田川大宮道路(与謝天橋立～丹後大宮間)：供用(H28.10) ・大宮峰山道路：地元説明会実施、現地測量実施中 ・(仮)大宮峰山ICアクセス道路：概略ルート案作成済 ・峰山～網野間の事業化要望：春の政策提案、秋の政府要望にて要望
	④	○	・緊急輸送道路の強化 <3箇所完了、16箇所事業推進中、2箇所着手(100.0%)> ・緊急輸送道路における耐震対策 <橋梁耐震対策推進：残1橋工事中(99.6%、借地の交渉に日数を要したため) 法面防災対策推進：3箇所完了(150.0%)>

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
5	沿線市町等との連携により、広域幹線ネットワークの整備(北陸新幹線、JR奈良線・山陰本線等)を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	高速鉄道網(広域交通インフラ)整備に向けた取組を推進します。 ・日本海国土軸形成に資する北陸新幹線の整備促進に向けた取組 ・府北部地域の国のルート調査実施と調査結果を受けた最適なルートの早期着工・実現に向け、課題整理と国への働きかけ等の取組を推進 ・リニア中央新幹線の京都誘致へに向けた取組 ・リニア中央新幹線のルート選定と大阪までの同時開業の検討を国へ要望	◎	・北陸新幹線 政府要望の実施(H28.7, 11) ・整備新幹線と党PT敦賀大阪間整備検討委員会で府の考え方を主張(H28.11, H29.3) ・リニア中央新幹線 政府要望の実施(H28.7, 11)
	②	JR奈良線・山陰本線の整備を推進します。 (奈良線) JR奈良線複線化・高速化第2期事業を推進します。 ・複線化工事に着手 ・京都駅設備改良工事の完成 ・奈良線の駅舎整備など利用促進に向けた取組の推進 (山陰本線) 京都縦貫幹線鉄道構想実現に向けた活性化勉強会を開催します。 ・JR山陰本線活性化策の調査・研究を推進し、活性化策をとりまとめるとともに、府域の鉄道網整備の推進に向けた要望活動を実施 山陰本線(園部～綾部)沿線地域交通網形成計画を策定し、利便性向上、利用促進を推進します。 府域の鉄道網整備の推進に向けた要望活動を実施します。 ・京都縦貫幹線鉄道等(JR奈良線・山陰本線・関西本線・片町線)の高速化、複線化等に係る整備・支援について、国への要望活動の取組を推進	◎	(奈良線) ・JR奈良線複線化・高速化第2期事業 ・起工記念式典(H28.7)、線増工事着工 ・京都駅改良工事完成・供用開始 ・山城多賀駅改良完了 (山陰本線) ・山陰本線沿線地域公共交通網形成計画策定 府域の鉄道網整備に向けた要望活動 ・政府要望実施(H28.7,11)
	③	JR奈良線複線化・高速化第2期事業に関連する周辺道路、河川を整備します。 ・戦川、弥陀次郎川用地買収推進 ・向島宇治線(宇治街道踏切)の立体交差化事業推進、都市計画道路玉水駅西交通広場の用地買収着手	◎	・戦川:用地買収に先立ち地元調整中 ・弥陀次郎川:JR西日本と調整中 ・向島宇治線(宇治街道踏切)の立体交差化事業推進(地元計画説明実施中)、玉水駅西交通広場の一部用地買収済
	④	京都丹後鉄道の魅力アップ等利用促進の取組を推進します。 ・特急車両のデザイン改修による魅力向上 ・京都丹後鉄道駅におけるまちづくりと一体となった駅周辺のにぎわいづくりや交通結節機能の強化による利便性向上を図る駅再生プロジェクトの推進(丹後由良駅、久美浜駅の駅再生に着手) ・運行会社とも連携した利用促進策の推進 <京都丹後鉄道利用者人数 200万人(㉔実績 184万人)>	○	・特急車両「丹後の海」3編成目、4編成目を整備し、原則、毎日「丹後の海」がJR京都駅へ乗入可能な体制となる。 ・丹後由良駅、久美浜駅において住民参画の上、駅再生計画を策定。駅舎ライトアップ、駅前広場整備、トイレ整備、路線バスの新設などを実施。 ・運行会社と沿線自治体が連携し、沿線住民などの利用を促すスタンプラリーや冬期の特急利用を促進するキャンペーンを実施<利用人数180.6万人(90.3%)>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
6	国際ランドブリッジ形成のため、京都舞鶴港の日本海側拠点港計画を実現し、「物流」の港から「人流・物流」の総合ゲートウェイを目指します。		
達成手段 (数値目標)	① 日本海側拠点港で選定された機能強化のため(国際海上コンテナ、国際フェリー・RORO船、外航クルーズ)、物流・人流に係る港湾整備を推進します。 【国際海上コンテナ】 ・国際ふ頭での2隻同時荷役を可能とするための物流機能強化を実施 ①国直轄工事の促進支援(国際ふ頭岸壁70m延伸) ②ふ頭用地の造成 ③現在のガントリークレーンに加え、多目的クレーンを整備 ・国際ふ頭と西港地区を直結する臨港道路(和田下福井線)の高野川橋梁下部工の完了(H29高野川工区完了) 【国際フェリー・RORO船】 ・第2ふ頭での国際フェリー就航に向けた施設整備 【外航クルーズ】 ・多言語表記の観光案内板等、外国人観光客のための施設整備	○	【国際海上コンテナ】 ・国際ふ頭での物流機能強化 ①国直轄工事中(埋立、舗装工) ②府工事中(載荷盛土、舗装工) ③多目的クレーン発注準備中 ・橋梁下部工(仮設土留工)実施中 ○【国際フェリー・RORO船】 ・就航状況を踏まえた施設整備内容の検討中 ※未達成理由 運用業者の船舶購入の遅れに伴い、 就航自体が開始されていないため。 【外航クルーズ】 ・多言語表記の観光案内板レイアウト作成
	② 京都舞鶴港を京都府の物流ネットワークの拠点、関西経済圏における日本海側ゲートウェイとするため、対岸諸国との定期航路を拡充するとともに、クルーズ客船の誘致に取り組みます。 ＜コンテナ取扱量:10,000TEU (②実績:8,620TEU) 貿易取扱量:1,187万t (②実績:1,103万t) 定期航路数:5航路 (②実績:4航路) 日韓露国際フェリーを利用した出入国者の数:5,000人(②実績:約440人) クルーズ客船の寄港決定数:18寄港 (②実績:17寄港(うち2は宮津港寄港)) クルーズ船乗客数24,000人(②実績:約9,600人(宮津港・伊根湾寄港を含む)) クルーズ船向けおもてなし企画の実施 10回(②新規)＞	○	＜コンテナ取扱量(11,493TEU・114.9%) 貿易取扱量(1,083万トン・91.2%) 定期航路数(4航路・80.0%) 日韓露国際フェリーを母港とした出入国者の数 (56名・1.1%) ※未達成理由 航路獲得に必要な貨物量確保の見通しが 立たなかったため。 クルーズ客船の寄港決定数 (41寄港・227.8% うち宮津1、久美浜1) クルーズ船乗客数(約22,400人・93.3%) クルーズ船向けおもてなし企画の実施回数 (10回・100%)＞
	③ 関西一円とアジア・ヨーロッパ地域とを結ぶ国際ランドブリッジを形成する物流ルートの整備を推進します。 ・高速道路ICへのシームレスなアクセスのための直轄国道27号(西舞鶴道路)の用地買収促進、臨港道路(上安久線)の測量設計着手支援	◎	国道27号(西舞鶴道路)の用地買収促進(47%)、 工事着手 臨港道路(上安久線)現地測量着手(H28.7)
	④ 港湾の安心・安全を確保するため、京都舞鶴港の危機管理対策を推進します。 ・災害時における初動対応等を迅速かつ的確に行うため、事業継続計画(港湾BCP)を策定 ・国が策定した「プレジャーボートの適正管理及び利用環境改善のための総合的対策に関する推進計画」に定める地域計画を策定 ・京都府プレジャーボート等係留対策協議会による合同パトロールの実施、放置艇の規制強化等	○	・京都舞鶴港港湾BCP協議会において、「京都舞鶴 港港湾BCP」を策定済(H28.3) ・京都府プレジャーボート係留対策協議会におい て、「京都府プレジャーボート適正管理等地域推進 計画」を策定済(H28.2) ・京都府プレジャーボート係留対策協議会を開催 し、放置艇の規制強化等について検討(H29.2)。ま た、放置等禁止区域を1箇所追加(H28.7)したほか、 撤去等個別案件対応を実施 ・規制強化として河川課・中丹土木事務所 (H28.8)、河川課・丹後土木事務所(H28.10)でそれ ぞれ合同パトロール実施

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
7	「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」づくりを目指した取組を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	「海の京都」戦略拠点及び戦略拠点間の施設整備を推進します。 ・[久美浜エリア]久美浜湊宮浦明線(久美浜町)の2車線改良の事業推進 ・[伊根浦エリア]伊根港線景観舗装等整備推進(地域主導)	◎	・[久美浜エリア]久美浜湊宮浦明線(久美浜町)整備完了(H28.9) ・[伊根浦エリア]整備推進中
	②	「海の京都」周遊ルートの整備を推進します。 ＜・国道178号(上野平バイパス)、国道178号(袖志)、浜丹後線(宮バイパス)の事業推進など「丹後半島一周京都の新海遊ルート」の整備推進＞	◎	・対象全3箇所事業推進中
	③	「森の京都」戦略的交流拠点エリア及び拠点間の整備を推進します。 ・京都広河原美山線(美山町)2車線改良の事業完了 ・園部平屋線(殿田)、小西西坂線(鍛冶屋)・綾部宮島線(脇谷バイパス)の事業推進【一部再掲】 ・綾部大江宮津線歩道整備等推進(地域主導) ・上夜久野停車場線の道路拡幅等整備推進(地域主導) ・国道173号道の駅「瑞穂の里・さらびき」トイレ改修の完成 ・国道372号(亀岡市)に案内標識を整備完了	◎	・京都広河原美山線(美山町)2車線改良の事業完了(H28.10) ・園部平屋線(殿田)、小西西坂線(鍛冶屋)・綾部宮島線(脇谷バイパス)の事業推進中 ・上夜久野停車場線の道路拡幅等整備推進(地域主導): ・国道173号道の駅「瑞穂の里・さらびき」トイレ改修完了(H29.3) ・国道372号(亀岡市)の案内標識整備完了(H29.1)
	④	「お茶の京都」戦略的交流拠点エリア及び拠点間の整備を推進します。 ・京都八幡木津自転車道線のリニューアル事業に着手 ・「京都やましろ茶いくるライン」の整備推進 ・生駒井手線(京田辺市)等に案内標識等を整備推進	◎	・京都八幡木津自転車道線のリニューアル事業着手 ・「京都やましろ茶いくるライン」の整備推進中 ・生駒井手線(京田辺市)等に案内標識等を整備推進中

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
8	鴨川の治水対策や環境整備を推進し、府民に安心と憩いの場を提供します。			
達成手段 (数値目標)	①	「千年の都・鴨川清流プラン」に基づく河川整備を推進します。 [安心・安全の鴨川をめざして] ・水鷄橋～名神(右岸)の間で低水、高水護岸及び高水敷の整備推進 ・桂川合流点上流部の河川区域内行為者(耕作)との調整を推進し、河道拡幅工事等に着手 ・出水等により顕著に堆積した箇所の中州を除去 ・京都市との連携により、大規模水害対策等の検討を推進 [千年の都・京都の美しい鴨川をめざして] ・昨年度に引き続き、鴨川納涼床の許可審査基準に100%適合するよう指導を実施 ・鴨川納涼床店舗等に対して、エアコン室外機についての個別指導を実施 [より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして] ・橋の下の空間を活用し、鴨川にまつわる歴史や文化などの魅力を発信する鴨川ギャラリー事業を実施<1箇所(㊦実績1箇所)> ・鴨川探検による体験学習、環境教育の実施	◎	[安心・安全の鴨川をめざして] ・水鷄橋～名神(右岸)の間で低水、高水護岸及び高水敷の工事を実施中 ・桂川合流点上流部の河川区域内行為者(耕作)との調整を推進し、河道拡幅工事等を実施中 ・堆積した箇所の中州を浚渫中 ・大規模水害対策等について検討中(想定はん濫区域図の作成) ◎ [千年の都・京都の美しい鴨川をめざして] ・鴨川納涼床の許可審査基準100%適合 ・エアコン室外機等の個別指導実施(先斗町歌舞練場、先斗町お茶営業協同組合木屋町会、京都鴨川納涼床協同組合) [より一層多くの人々から親しまれる鴨川をめざして] <・鴨川ギャラリー実施(葵橋1件)(100.0%)> ・鴨川探検を3回実施
	②	鴨川公園葵地区の整備に向け住民参画を進めます。 ・鴨川公園葵地区整備検討会議の実施	◎	・鴨川公園葵地区整備計画に係る意見聴取会議開催(H29.2)
	③	鴨川ふれあい空間事業を推進します。 ・鴨川納涼などでのイベント実施	◎	・8月6、7日の鴨川納涼時にステージイベント実施

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
9	高齢者や子育て世帯など多様な世帯が居住し交流できる府営住宅などの整備を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	少子化の進行など時代の流れにふさわしい新たな住宅政策を展開します。 ・京都府住生活基本計画の策定 ・府営住宅長寿寿命化計画の策定 ・府営住宅における自治会の役割（特に共益費の取扱い関係）に関し、住宅審議会にて結論を得た上で必要に応じ制度改正の検討や入居管理のあり方について議論 ・25年度実績から倍増した府営住宅における子育て世帯向け住戸や新婚世帯向け住戸の募集戸数を継続<110戸／年（㉒実績113戸）> ・府営住宅でのさらなる子育て世帯向け住戸の確保に向け、昨年度実施した住替え支援の検証等を踏まえた上で、大規模住戸に居住する単身者等の住替え支援（10戸）や2戸1改善による規模増の整備等を展開	○	・京都府住生活基本計画策定済(H29.1) ・府営住宅長寿寿命化計画策定済(H29.3) ・共益費の取扱いに関し、住宅審議会にて答申を得て自治会に対する指導等を実施 ・子育て世帯向け住戸、新婚世帯向け住戸の募集を継続<111戸（101.0%）> ・さらなる子育て世帯向け住戸の確保： 昨年度実施結果の検証を踏まえ、二人世帯も対象とし、大規模住戸に居住する単身者等の住替え支援(3戸) 2戸1改善に向けた耐震診断及び実施設計を実施、団地自治会との事前調整を終え、発注準備済
	②	大規模団地の建替えにおいて、子育て世帯を含む多様な世帯が居住し交流できるような整備を推進します。 ・芥子谷団地（舞鶴市）：第1期の建設工事（50戸）を発注（全体計画200戸） ・中村団地（福知山市）：第2期建設工事（H29年度着工）を進めるため、開発（道路）工事を年度内に発注 ・向日台団地（向日市）：建替基本構想の策定		・芥子谷団地：建設工事発注済 ・中村団地：開発（道路）工事発注済 ・向日台団地：基本構想策定に向け、民活導入可能性調査（全額国費H28.12採択）の業務委託契約締結済
	③	既設府営住宅のバリアフリー化やコミュニティの再生を推進します。 ・府営住宅のすべての新規入居者に対してバリアフリー化住戸を提供<約600戸（㉒実績 507戸）> ・既設府営住宅（5階建て片廊下型住棟）へのエレベーターの設置推進<4基（㉓新規）> ・コミュニティの活動拠点となる既設府営住宅集会所の改修等を実施<8箇所（㉒実績 4箇所）>		・バリアフリー化住戸の提供<475戸（79.2%）> 【未達成要因・理由】 募集は696戸実施したが、応募がなかった住戸や入居辞退等があったため。 ・エレベーター設置推進<7基（175.0%のうち2基設置、1基発注、4基地元協議中）> ・集会所改修<5団地について設計実施、そのうち3箇所について工事実施済（37.5%）> 【未達成要因・理由】 事業未実施団地自治会（37団地）へのアンケート調査の結果、改修希望が5団地に留まり、またそのうち2団地において工事が入札不調となり、時間を要したため。
	④	堀川団地の再生を推進します。 ・堀川通の「新しい顔」となる統一感のある魅力的な街並み景観形成に向け、マスターアーキテクトのもとで建物外観等に関するデザイン調整を実施するとともに、「アートと交流」のテーマに沿った改修棟の整備を推進		・マスターアーキテクトのもとで実施設計に係る外観デザイン調整を実施、また出水団地第3棟の改修実施設計を実施
10	民間賃貸住宅も含めた住宅ストックの質の向上を図るとともに、誰もが入居・居住しやすい環境づくりを推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	高齢者等が民間賃貸住宅に入居・居住しやすい環境を整備し、住宅セーフティネットの構築を図ります。 ・高齢者等の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、「住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業」の普及について京都府居住支援協議会で協議し参画団体の協力を得て周知を図る。（併せて制度の改善を国へ要望） ・高齢者が安心して住み続けられる住宅確保のため、バリアフリー構造等を有し介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の普及促進を進める<500戸（㉒実績582戸）>	△	・京都府居住支援協議会の事業計画に位置付け、住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の普及を実施、また制度改善について政府政策提案を実施（H28.6） ・サービス付き高齢者向け住宅の登録<800戸（160.0%）>
	②	地域における住宅を介した若者と高齢者との交流を支援します。 ・若者への低廉で質の高い住宅確保と、若者に自宅の一室を提供する高齢者との交流を図るため、改修が必要な住宅のリフォーム補助制度を創設し、同居マッチングを実施<マッチング10組（28年度新規）>		・<マッチング成立4組（40.0%）>（高齢者11世帯 若者17名のマッチングを実施。11組の個別面談（4組同居成立、1組相談中、6組不成立）） 【未達成要因・理由】 個別面談を11組実施したが、うち6組の高齢者・若者双方の希望条件が合わなかったため。

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
11	通学路の安全確保の推進など、総合的な交通事故防止対策を実施します。			
達成手段 (数値目標)	①	通学路等の安全確保を推進します。 ＜・歩道等の整備を西京高槻線(寺戸事務所前)、国道163号(今山)など62箇所実施し、うち天王亀岡線(本梅町)、国道482号(大山)など4箇所完了、舞鶴福知山線(二箇)など9箇所着手＞ ・通学路での安全確保のため、市町村教育委員会、市町村、警察など関係機関と連携した安全対策(合同点検)の推進	◎	＜・歩道等の整備を63箇所実施(101.6%)、うち4箇所完了(100.0%)、9箇所新規着手(100.0%)＞ ・通学路での安全確保のため、関係機関と連携し、通学路の安全対策(合同点検)を25市町村で実施
	②	死亡事故発生箇所の交通安全対策を推進します。 ・国道175号(舞鶴市上福井)、国道307号(京田辺市草内)の2箇所実施 ・あんしん歩行エリアの宇治・南陵町地区、長岡京市中心市街地地区等の3箇所事業推進 ・交通事故減少のため急ブレーキ多発箇所についてカーナビデータを分析・現地点検の上、事故防止対策を実施 ＜対策工事20箇所、現場点検77箇所実施(⑦実績 対策工事22箇所、現場点検50箇所実施)＞	◎	事故危険箇所:対象箇所を含む9箇所事業実施 あんしん歩行エリア:対象全3箇所事業実施 急ブレーキ箇所: ＜対策工事20箇所実施、現場点検77箇所実施(100.0%、点検全172箇所完了)＞
	③	自転車の通行環境整備を推進します。 ・京都八幡木津自転車道線、生駒井手線、福知山綾部線の3箇所事業実施、うち1箇所完了	◎	全3箇所事業実施し、うち1箇所(生駒井手線)で完了(100.0%)
12	鉄道駅舎や道路など公共的施設等のユニバーサルデザインを推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	道路のバリアフリー化を推進します。 ＜・市町策定の基本構想に基づく道路のバリアフリー化は、全体8地区15.19kmの内10.2kmで完了[67%]しており、平成28年度はさらに向日市地区など3地区0.5kmで事業推進＞ ＜・歩行空間のバリアフリー化は、城陽宇治線(大久保)、京都宇治線(五ヶ庄)など63箇所実施し、うち和東井手線(井手)など4箇所完了、舞鶴福知山線(二箇)など9箇所着手＞	◎	＜・市町策定の基本構想に基づく道路のバリアフリー化:向日市・長岡京市・大山崎町3地区0.5kmで事業推進(100.0%)＞ ＜・歩行空間のバリアフリー化:64箇所実施(101.6%)、うち4箇所完了(100.0%)、9箇所新規着手(100.0%)＞
	②	鉄道駅舎にエレベーター等の施設を整備し、バリアフリー化を推進します。 ・利用者3千人以上／日の府内駅舎のバリアフリー化に向けた事業者との調整、施設整備に対する支援 ・阪急上桂駅、松尾大社駅、嵐山駅、京福西院駅のバリアフリー化完成 ＜86%[全体140駅のうち120駅完了](⑦実績 83% 116駅完了)＞ 整備予定:阪急上桂駅、阪急松尾大社駅、阪急嵐山駅、JR木幡駅、嵯峨嵐山駅、近鉄向島駅、阪急・京福西院駅	◎	・バリアフリー化未整備箇所の推進について、鉄道事業者や市町村と推進に向けた調整を実施 ・阪急上桂駅、松尾大社駅、嵐山駅、京福西院駅のバリアフリー化完成＜140駅中120駅完了(86%)＞

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
13	住民参画・協働による公共事業を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	府民との協働により、道路や河川、公共施設等の公共空間の整備・活用を進めます。 ＜府民公募型整備事業及び地域主導型公共事業への参加人数6,350人以上(㊦実績 6,335人)＞	○	◎ 6,443人(101.5%)
	②	ボランティア団体とのパートナーシップによる清掃活動等を推進します。 ・「さわやかボランティア・ロード」や「地域と一体となった歩道除雪」事業への参画団体の拡充 ・天橋立公園の松並木保全ボランティア「天橋立まもり隊」などの活動を府・市・地域団体の協働で実施＜活動参加者数 のべ4,000人＞ ・木津川運動公園(山砂利採取跡地)の自然再生を図る府民協働による森づくりの推進＜H28植樹目標:累計10,050本、最終(H32まで)15,000本(㊦実績 累計 8,418本)＞		○ ・さわやかボランティア・ロード、地域と一体となった歩道除雪:参画団体数計:220(㊦実績219(2月末現在)) ・天橋立公園ボランティア参加者数 ＜4,960人(124.0%)＞ ・木津川運動公園植樹実績 ＜累計9,165本(91.2%)＞
14	地域を最も良く知る市町村が行う定住人口増加へ向けた「地域のまちづくり」の取組を支援します。			
達成手段 (数値目標)	①	市町が主体的に地域のまちづくりを検討・実現するためのデータ構築に必要な技術的支援を行います。 ・平成27年度に市町職員と実施した「都市分析手法勉強会」で得た、GIS等を活用した都市現況の分析手法のノウハウを活かし、今年度は市町が実施する分析作業を支援するとともに、府及び各市町間で結果を共有 ＜北中部・南部の各3市町と共有＞	◎	◎ ＜・統合型GISを活用し、都市分析のデータベースとして北中部・南部の各3市町を含む25市町村と共有済(833.3%)＞
	②	Iターン、Uターンを推進し、既存集落の活力維持に資するため、地域の実状や特性に応じたまちづくりを支援します。 ・市町による市街化調整区域内の地区計画策定 ＜1地区以上(㊦実績 福知山市において、1地区の地区計画案を策定され、府への事前協議完了済(今後、市において法定手続)＞		◎ ＜・南丹市で3地区、井手町で1地区の計4地区において策定済(400.0%)＞
	③	「道の駅」の整備を推進します。 ・国道163号(南山城村)の一体型「道の駅」整備推進及び支援		◎ 道の駅「お茶の京都 みなみやましろ村」H29.3完成、H29.4オープン

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
15	地域のにぎわいを創出し、交流人口の増加を図るため、核となる施設の整備や充実を図るとともに、地域の活動を支援します。			
達成手段 (数値目標)	①	鴨川の環境整備を推進します。 ・鴨川ふれあい空間事業の推進（鴨川納涼などでのイベント実施）【再掲】 ・鴨川公園葵地区整備検討会議の実施【再掲】	◎	・鴨川納涼時にステージイベント実施(H28.8) ・鴨川公園葵地区整備計画に係る意見聴取会議開催(H29.2)
	②	西高瀬川の環境整備を推進します。 ・天神川で分断され枯れ川となっている西高瀬川の清流を取り戻すための導水事業（低水路工）の実施 ・西高瀬川沿川にある三条坊町公園の親水施設整備について京都市と連携して推進	◎	・導水事業(低水路工)を実施中 ・三条坊町公園の親水施設整備について、京都市と協議し、管理区分について調整完了。底地の取り扱いについて協議中。
	③	府民の快適な公園利用を確保する施設の整備・充実を図ります。 ・都市公園の利用増進 ＜山城総合運動公園、丹波自然運動公園、伏見港公園、府民スポーツ広場、関西文化学術研究都市記念公園の利用者数（年間）：284万人（㊦実績 274万人）＞ ・木津川運動公園 森づくりの推進 ＜H28植樹目標：累計10,050本 最終（H32まで）15,000本（㊦実績 累計 8,418本）＞【再掲】 ・既存公園施設の整備推進 ＜淀川三川合流域：国及び周辺市町と連携協働し、京都府域淀川河川公園利用者を43万人以上、淀川河川公園(国)におけるサービスセンターの工事完成＞ 鴨川公園葵地区整備検討会議の実施【再掲】 丹波自然運動公園:南区域駐車場門扉更新工事完了【再掲】 山城総合運動公園:幹線道路修繕工事完了【再掲】	○	・都市公園利用者数:290万人(102.1%) ・木津川運動植樹実績:累計9,165本(91.2%) ・既存公園整備 淀川河川公園:公園利用者数63万人(H28.4.～H29.2 146.5%)、サービスセンター(さくらであい館)オープン(H29.3) 鴨川公園葵地区:意見聴取会議開催(H29.2) 丹波自然運動公園、山城総合運動公園:工事完了
	④	地域の優れた景観とそれを守り育てる地元の取組を支援し、地域の交流とにぎわいのあるまちづくりを推進します。 ＜・京都府景観資産の新規登録件数：1件以上（㊦実績3件）＞	△	「京都府景観アドバイザー派遣」後(H28.3)、登録に向けた地元の提案書作成を継続的に支援。亀岡市内において登録に向けた提案書が提出されており(H29.3)、29年度早期に景観審議会の意見聴取を経て登録予定 【未達成要因・理由】 地元からの「登録提案書」の提出が29年3月となったことから、登録手続にまで至らなかったため。
16	市町村などによる活力のある地域の形成と個性をいかした雇用創出につながるまちづくりへの取組を支援します。			
達成手段 (数値目標)	①	駅周辺の都市基盤の機能強化を図る市街地整備に向けた取り組みを支援します。 ・駅周辺の機能向上を図る土地区画整理事業の推進 亀岡駅北地区（ＪＲ工事着手） 柏田東地区（都市計画道路概成） 八木駅西地区（工事推進）	◎	亀岡駅周辺工事 JR工事協定締結(H28.4)、着手(H28.9) 柏田駅東地区 都市計画道路(駅前広場含む)完成 八木駅西地区 工事起工式(H28.9)
	②	ＩＣ周辺の都市基盤の機能強化を図る市街地整備に向けた取り組みを支援します。 ・ＩＣ周辺の土地区画整理事業を推進し、雇用創出増大を目指した工業団地の基盤整備 大井町南部地区(基盤整備、工場建築工事推進) 久世荒内・寺田塚本地区(工事推進)	◎	大井町南部地区 基盤整備、工場建築工事推進(日清医療食品(株)など) 久世荒内・寺田塚本地区 工事推進(H29日本郵政建築工事のための区画整理、宅地造成等基盤整備)
	③	安全・安心で快適な市街地の実現に向けた地域のまちづくりを支援します。 ・地域のまちづくり構想(立地適正化計画)の支援(舞鶴市、長岡京市、南丹市、亀岡市、京田辺市) ・都市機能の向上と良好な居住環境の形成を目指したまちづくり構想（土地区画整理事業調査）の支援（精華町菅井植田地区）	◎	・立地適正化計画の作成(全箇所調査業務の着手、長岡京市公表) ・まちづくり構想について地元全体説明実施(精華町菅井・植田地区)

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
17	地域を支える優良な建設業を育成し、担い手の確保・育成等を支援します。			
達成手段 (数値目標)	①	計画的な予算執行や施工時期の平準化等に取り組みます。 ・計画的かつ迅速に公共事業を執行 ＜上半期目標:繰越予算の全額と平成28年度予算の80%を発注＞ ＜年間目標:上半期発注額を確実に執行(約530億円) ・債務負担行為や繰越制度を活用して適切な工期を確保し、施工時期の平準化等を推進	○	・約480億円を執行(90.6%) ・平準化債の確保(9月議会)、経済対策予算(補正予算)の早期の繰越明許費の設定など、適切な工期設定及び発注の平準化を推進
	②	透明性・公平性を確保した上で、建設企業が適正な利潤を確保できるよう、入札契約制度を適切に運用します。 ・工事にかかる費用をより適切に反映した新積算基準を導入 ・担い手確保・育成に貢献する企業を評価できるよう入札制度を見直し ＜・橋梁上部工等特殊な技術を要する工事や大規模工事を除き100%府内企業に発注(⑦実績 100%)＞		・新積算基準導入済(H28.8) ・総合評価競争入札において、技術者の雇用を増大させている企業を評価するよう基準を見直し ・全発注件数716件中、対象となる工事等618件をすべて府内企業に発注(100.0% ほか橋梁上部工等特殊な技術を要する工事等98件は対象外)(H28.11現在。H29.4末確定。)
	③	建設企業の経営改善を支援します。 ・建設労働者の処遇改善や若年層の雇用拡大に取り組む企業を支援する研修等の実施＜参加人数100人(⑧新規)＞ ・技術力向上など人材育成のための研修等の実施＜参加者数1,200人(⑦実績 1,272人)＞		・企業を支援する研修等の実施 参加人数156人(156.0%) ・技術力向上等のための研修等の実施 参加人数1,280人(106.7%)
	④	将来の担い手に向けて建設業の魅力を広く発信します。 ・国・市町村や関係団体と連携し、建設業の魅力や社会資本整備の効果を発信する取組みを展開 ＜現場見学会、高校生向け研修など10回(⑦実績 537人)＞		・現場見学会等17回開催(170.0%) のべ2,386人参加
18	技術と経営に優れ、地域に貢献する優良な企業が活躍できる環境を整備するため、建設生産システム全般における取組を積極的に推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	厳格な資格審査を実施し、的確な企業評価・入札参加資格を設定します。 ・建設業許可申請等の審査事務における一層の厳格化(「名義貸し」、「名ばかり営業所」の排除)のため、「営業所立入検査」の実施＜150件(⑦実績 147社)＞	○	・営業所立入検査実施件数146社(97.3%)
	②	受発注関係を適正化し、監督、検査体制を強化します。 ・専門技術やコンプライアンス知識に係る「実務研修プログラム」に基づく階層別基礎研修の実施＜4回(⑦実績 4回)＞ ・工事成績評定、技術評価の統一化及び検査技術の向上のための取組を強化 ＜検査業務担当者研修 2回(⑦実績 2回)＞ ＜国及び市町村等と連携した工事検査への臨場 10回(⑧新規)＞ ・工事の品質確保や下請企業へのしわ寄せ防止等の観点から、工事の各段階における履行状況確認の徹底		・基礎研修4回(100.0%) ・検査業務研修2回(100.0%) 検査臨場13回(130.0%) ・低入札工事検査4回(全件)を実施
	③	受発注者間の業務の円滑化・効率化に取り組みます。 ・情報共有システムの試行を拡大＜50工事(⑦実績 42工事)＞ ・発注者、施工者及び設計者間の設計意図の伝達及び情報の共有化を図る「工事施工調整会議(三者会議)」の試行を継続＜20工事(⑦実績 9工事)＞		・情報共有システム57工事(114.0%) ・三者会議12工事(60.0%) 【未達成要因・理由】 橋梁工事等、三者会議を必要とする技術的難度の高い工事の発注が少なかったため。

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
19	地域高規格道路、鉄道駅周辺の整備など、交通基盤整備を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	関西文化学術研究都市へのアクセス向上のための道路整備を推進します。 ・山手幹線宮津菱田工区の用地取得推進・工事推進 ・国道163号精華拡幅(学研都市連絡道路)の国直轄事業の促進支援(用地取得、工事) ・都市計画道路東中央線の工事推進、用地取得推進 ・国道163号(木津東バイパス)の直轄事業の促進支援(工事)	◎	・山手幹線宮津菱田工区の用地取得及び工事推進中 ・国道163号精華拡幅の用地買収促進、工事着手 ・都市計画道路東中央線の工事推進及び用地取得推進中 ・国道163号(木津東バイパス)の埋蔵文化財調査支援、仮設道路工着手
	②	徒歩や公共交通機関で移動しやすいまちづくりを推進します。 ・駅へのアクセス道路の整備 都市計画道路宇治淀線の完了、都市計画道路御陵山崎線(Ⅲ工区)、都市計画道路並河亀岡停車場線及び都市計画道路玉水駅西交通広場の用地取得推進・工事推進	◎	・都市計画道路宇治淀線の完了(H28.8供用開始) 都市計画道路御陵山崎線(Ⅲ工区)、都市計画道路並河亀岡停車場線及び都市計画道路玉水駅西交通広場の用地取得及び工事推進中
20	公共交通ネットワーク再構築等に向けた計画づくりを推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	鉄道、路線バス等幹線交通と地域フィーダー交通との整合のとれた地域特性に最適な公共交通ネットワークを構築するため、中山間地域を含む地域公共交通網形成計画を策定します。(一部再掲) ・JR関西本線(加茂以東地域)…笠置町、南山城村 ・JR山陰本線沿線…南丹市、京丹波町、綾部市	◎	・JR関西本線(加茂以東)沿線地域公共交通網形成計画(京都府、笠置町、和東町、南山城村)策定済(H29.3) ・JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通網形成計画(京都府、綾部市、南丹市、京丹波町)策定済(H29.3)
	②	「京都府北部地域連携都市圏」の交通計画づくりを支援します。 ・北部地域連携都市圏市町と連携し、公共交通の利便性向上に向けた計画策定を支援	○ ◎	・交通実態調査報告書の作成の支援を実施
	③	まちづくりと一体となった駅周辺のにぎわいづくりや駅の交通結節点としての機能向上を図るため、駅再生プロジェクトを推進します。 <・笠置駅、大河原駅、和知駅、山家駅の4駅で駅再生計画とりまとめ>	◎	・笠置駅:駅舎改修工事完了 大河原駅:改修計画をJRと調整中 和知駅、山家駅:計画案を地元調整中
	④	観光・福祉・医療・教育・物流との連携による新たな需要創造を行いつつ、新しい公共交通のあり方を構築します。	○	・中山間地域公共交通等ICT活用事業により、全国の事例収集、実証実験、有識者からの意見聴取を踏まえ、ICTをベースにした需要創造を踏まえた今後の公共交通のあり方について整理

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
21	交通の高度化に向けた取り組みを推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	中山間地域等における効率的・効果的なネットワークを目指し、ICTを活用した公共交通システムの構築に取り組みます。 ・検討会議の開催、実証運行の実施 ICTを活用した公共交通の利便性向上を推進します。 ・バスにおけるICカードシステムの導入<4社(㊦実績 3社)> ・バスロケーションシステムの導入<1社(㊦実績 2社)>	○	・中山間地域公共交通等ICT活用事業により実証実験や有識者からの意見聴取を実施 ○ ・ICカードシステムの導入<3社(75.0% 1社は国の要綱改正に伴い府の協調補助の要件外) ・バスロケーションシステムの導入<1社(100.0%)>
	②	交通に係る人材育成を支援します。 ・京都大学京都交通政策ユニットを支援し、行政、交通事業者等を対象に都市交通技術者の養成を実施<受講者数20名(㊦実績 25名)> ・国土交通省と連携し、市町、事業者等の人材育成を支援<バス担当者会議開催2回、参加者数延べ60名(㊦実績 バス担当者会議開催2回、参加者数延べ78名)>		・京都大学京都交通政策ユニット ◎ <受講者数20名(100% 8回開講(H28.5~7))> ・バス担当者会議<2回開催(100.0% H28.5.H29.2)、参加人数延べ96名(123.1%)>
	③	けいはんな学研都市における連節バスを核とした交通システムの導入(29年度)に向けた調整を行います。		◎ ・平成29年度運行開始に向け、陸運局や警察等と調整を行い、精華町地球温暖化対策推進計画(運輸部門編)策定を支援。同計画に基づき環境省に奈良交通㈱が補助金申請を行い、2編成が奈良交通に納入済(H29.3)。車両デザインについて、地域にあったデザイン調整を支援
22	地域の生活交通の維持確保と利用環境の改善や利用促進施策を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	交通事業不採算地域をはじめ、地域の生活交通として必要な路線バス等生活交通の維持・確保と公共交通ネットワークの構築による利便性の改善に努めます。 ・路線バス等のサービス改善を進め、乗合バス等の利用者を維持<乗合バス利用者 1億7,200万人(㊦実績 1億7,411万人)> ・路線バスと鉄道の乗り継ぎ向上のため地域交通事業者間の連携を密にし、路線、ダイヤ、車両運用等を改善	◎	・乗合バス利用者<㊦1億7,993万人(104.6%)> ◎ ・市町、交通事業者からなる府北中部地域地域公共交通連絡会議を8月に開催
	②	まちづくりと一体となった駅周辺のにぎわいづくりや駅の交通結節点としての機能向上を図るため、駅再生プロジェクトを推進【再掲】 ・丹後由良駅、久美浜駅の駅再生に着手 ・笠置駅、大河原駅、和知駅、山家駅の駅再生計画とりまとめ		◎ ・丹後由良駅、久美浜駅において住民参画の上、駅再生計画を策定。駅舎ライトアップ、駅前広場整備、トイレ整備、路線バスの新設などを実施 ・駅再生計画とりまとめ 笠置駅:駅舎改修工事完了 大河原駅:改修計画をJRと調整中 和知駅、山家駅:計画案を地元調整中

運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
23	鉄道不便地域の道路など、住民生活に不可欠な道路の整備を推進します。			
達成手段 (数値目標)	①	鉄道不在地域の道路整備を推進します。 ・地域幹線道路の整備推進 ＜国道307号奥山田バイパスなど4箇所工事推進＞ ・1.5車線の道路など住民生活に密着した道路整備推進 ＜和束井手線、京丹波三和線、舞鶴野原港高浜線など10kmを整備＞	△	・地域幹線道路の整備推進 ＜国道307号奥山田バイパスなど4箇所事業推進中(100.0%)＞ ・1.5車線の道路など住民生活に密着した道路整備推進 ＜5.2km整備完了(52.0%)＞ 【未達成要因・理由】 関連工区の用地を一括して買収する必要が生じ、工事費が縮小され、整備延長に反映されなかったため。
	②	観光地や運動施設等へのアクセス道路の整備を推進します。 ・日本海観光を支援する道路整備 国道178号(上野平バイパス)事業推進、国道178号(袖志)、浜丹後線(宮バイパス)の事業推進など「丹後半島一周京都の新海遊ルート」の整備推進【再掲】 ・運動施設へのアクセス道路整備 郷ノ口余部線(宇津根橋)の用地取得推進・工事推進【再掲】	◎	・日本海観光を支援する道路整備 対象全3箇所事業推進中 ・運動施設へのアクセス道路整備 郷ノ口余部線(宇津根橋)の事業推進中
	③	連帯する地域間を結ぶ道路の整備を推進します。 ・地域間連携道路の整備 木津信楽線(瓶原)、西京高槻線(寺戸事務所付近)工事推進、国道429号(新庄)事業推進 ・合併支援道路の整備 ＜国道482号(丹後弥栄道路)、京丹波三和線(京丹波町下山～三宮)等1箇所完了、6箇所工事推進＞ ・救急医療の連携を支援する道路整備 綾部宮島線(脇谷バイパス)、小倉西舞鶴線(白鳥トンネル)、国道178号(上野平バイパス)の事業推進【再掲】	◎	・地域間連携道路の整備 対象全3箇所事業推進中 ・合併支援道路の整備 ＜対象全7箇所のうち、1箇所完了(野田川大宮道路・H28.10)、6箇所事業推進中(100.0%)＞ ・救急医療の連携を支援する道路整備 対象全3箇所事業推進中
24	人口減少や超高齢化の進展、大規模災害の頻発等に対応した京都府づくり(国土利用)推進のため、市町村、関係部局等と連携し、京都府国土強靱化地域計画の作成、京都府国土利用計画の改定を行います。			
達成手段 (数値目標)	①	他部局とも連携し、国土強靱化基本法第13条に基づく国土強靱化地域計画として、京都府の国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に取り組むための指針として位置付けた「京都府国土強靱化地域計画」を策定します。 ・以下4つを基本目標に、起きてはならない最悪の事態を想定した上で脆弱性評価を行い、計画推進のための基本方針を設定 ①人命の保護が最大限図られること ②京都府内の重要な機能が致命的な障害を受けず、維持されること ③府民の財産及び公共施設に係る被害の最小化に資すること ④迅速な復旧復興に資すること	◎	「京都府国土強靱化地域計画」策定済(H28.11)
	②	明日の京都(地域振興計画)、地域創生戦略等の他の府計画との整合を図りながら、東京一極集中を是正し、府内の均衡ある発展を図るため、「京都府国土利用計画」を改定し、土地の有効活用等を図ります。 ・人口減少を前提とした計画とする ・地域区分は、4広域振興局の区分(丹後、中丹、南丹、山城)及び京都府域とする ・府域全体を視野に入れた地域創生とするなど府民が共感できる計画とする ・文化庁の京都移転、北陸新幹線ルートの選定、京都丹波高原国定公園の指定等を見据えた計画とする 地域区分(都市、農業、森林、自然公園及び自然保全)における総合調整のため、土地利用基本計画の改定にも、引き続き着手します。	◎	京都府国土利用計画策定済(H29.1) 京都府国土利用計画審議会において計画改定の考え方について審議、改訂に着手(H29.1)

目標達成状況(達成区分)	件数	割合
目標達成「◎」(達成手段のすべてが◎)	9	38%
概ね達成「○」(達成手段の◎○が2/3以上)	14	58%
未達成「△」(達成手段の◎○が2/3未満)	1	4%
計(運営目標数)	24	

【達成手段(数値目標)の達成区分】
「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
「○」…概ね達成(達成率90%～100%未満)
「△」…未達成(達成率90%未満)